

別府中学校PTAに
日本PTA全国協議会表彰



別府中学校PTAが令和3年度日本PTA全国協議会年次表彰を受賞しました。今回の受賞は、同PTAが校区内のこども園・小学校と「一園二校連絡協議会」をつくり、連携したPTA活動を実施しているほか、同窓会・子ども会・老人クラブ・公民館・伝統芸能保存会等、地域や団体との連携を積極的に行っていることなどが認められたものです。

PTA会長の中村登志子さんは「この賞は長年にわたり行ってきた活動が評価されたものであり、これからも先輩方から引き継いだ活動を保護者一丸となって取り組みたい」と話しました。

医療法人厚生会が市へ寄附金を贈呈



1月11日、医療法人厚生会から寄附金の贈呈があり、市役所で贈呈式が行われました。

今回の寄附金は、同会が発行した「かぎんSDGs推進医療機関債」の一部で、医療機関債発行企業が指定する団体などに対して鹿児島銀行を通して寄附を行い、地域企業と鹿児島銀行が一体となって地域の課題解決を図り、地域発展および持続可能な地域の社会づくりに貢献することを目的とするもので、市教育委員会へ寄附されました。

贈呈式で同会の小原壮一理事長は「非常に厳しい時代となっているが、地域の皆さまのために今後もベストを尽くしていきたい」と話しました。

尻無川の自然環境を守る会に
河川愛護運動県知事表彰



尻無川の自然環境を守る会(木原公民館)が令和3年度河川愛護運動優良団体県知事表彰を受賞し、12月17日に南薩地域振興局建設総務課長から

表彰状が授与されました。

同会では、地域を流れる尻無川の自然環境を守るため、地域住民と流域事業関係者が一体となり、平成12年から21年間にわたり尻無川流域の草払いやEM菌の投入などの環境美化活動に取り組んできました。

同会代表の大工園正弘さんは「住民の皆さんと一致団結して活動をやっていくことができ、感謝している。これからも若い方に引き継いでいきたい」と話しました。

田中秀輝教諭に
鹿児島県優秀教職員表彰



別府小学校の田中秀輝教諭が令和3年度鹿児島県優秀教職員表彰において若手教職員等奨励賞として表彰されました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導、進路指導、体育・保健・給食指導などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対してその功績を表彰するもので、今回の表彰は、田中教諭がWeb問題の活用や家庭学習の充実により県の学習定着度調査において県平均通過率を大きく上回る結果を残したことや、南薩地区教育論文で特選を受賞した実績などが認められたものです。

田中教諭は「多くの方々に認められたことが嬉しい。これからも期待に応えられるよう、自分を高めていきたい」と話しました。

コミュニティ助成事業 宝くじの助成金で福祉作業所利用者の福祉車両を整備

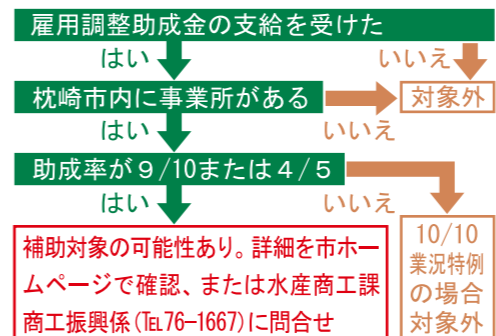
一般財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの受託収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

本年度、本市では地域づくり助成事業として本市が助成を受け、枕崎福祉作業所利用者の送迎用の福祉車両を購入しました。



雇用調整助成金の支給を受けた方へ
「雇用維持等支援事業補助金」申請忘れにご注意を

国の雇用調整助成金の支給決定を受けた事業者で、助成率が9/10または4/5の場合、事業者負担分の一部について市が補助します(補助額:上限20万円/月)。



※雇用調整助成金の申請を社会保険労務士に依頼した場合の費用の補助も行っています。

国では、新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受ける中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主に対して、事業規模に応じた給付金を支給します。

■対象者
2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上高と比較して50%以上または30%以上50%未満減少した事業者

■給付額及び上限額
給付額は「基準期間の売上高」(対象月の売上高×5)の上限額は売上高の減少割合や年間売上高等に依りて個人事業主は30万円～50万円、法人は60万円～250万円

■制度の詳細や申請方法等については、事業復活支援金事務局ホームページでご確認ください。

■問合せ 事業復活支援金事務局相談窓口 TEL0120-789-140

事業者向け新型コロナ関連支援策

事業者向け新型コロナ関連支援策



てんとうむし体操で楽しく、元気で、長生き



■問合せ 地域包括ケア推進課 TEL73-5131

現在17公民館、350人以上の方が参加!!

本市では、平成27年度から「地域包括ケアシステム」構築の一環として、高齢者の孤立防止や介護予防を目的とした「てげてげ広場」事業を行っています。てげてげ広場では、「てんとうむし体操」という、おもりの入ったバンドを手足に取り付け、歌を歌いながらゆっくりと体を動かす体操を週1回、公民館単位で感染予防に配慮して行っています。

ささえ合い、仲間づくりに最適!!

住民同士の支え合う互助の意識が高まるよう、生活支援コーディネーターと一緒にささえ愛マップづくりを実施しており、参加者と共に地域課題の掘り起こしを行うことで、改めて地域の実情を知る機会となり、互助による見守り活動にもつながっています。コロナ禍だからこそ、住民同士のつながりや支え合うことの大切さを参加者と共に実感しています。

体操だけじゃない学びの時間も

年1、2回は薬剤師、リハビリ専門職、歯科衛生士、管理栄養士、社会福祉士等の専門職に依頼し、出前講座を開催しています。健康づくりや介護予防の意識を高める機会になっています。

世話役会

世話役会では、各広場の中心になって動いている世話役の方に集まっていただき、各公民館の情報交換やリハビリ専門職より体操の伝達講習等を行っています。

あなたの公民館でも「てげてげ広場」を始めてみませんか?!

地域に通いのある場があるということはとても大切なことで、「てげてげ広場」には、体操だけではない触れ合いや支え合いがあります。「てげてげ広場」を始めてみたい、興味があるという公民館がありましたら、地域包括ケア推進課にご連絡ください。